



平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月2日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 内田洋行

コード番号 8057 URL <http://www.uchida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柏原 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 後藤 弘治

TEL 03-3555-4066

四半期報告書提出予定日 平成24年3月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年7月21日～平成24年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	51,091	△2.8	△1,125	—	△922	—	△906	—
23年7月期第2四半期	52,581	△2.9	△1,752	—	△1,524	—	△1,430	—

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 △1,174百万円 (—%) 23年7月期第2四半期 △1,318百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	△18.03	—
23年7月期第2四半期	△27.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第2四半期	72,659	30,032	38.8
23年7月期	76,523	31,699	39.1

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 28,217百万円 23年7月期 29,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	—	—	10.00	10.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年7月21日～平成24年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	3.4	300	—	600	—	0	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年7月期2Q	52,096,858 株	23年7月期	52,096,858 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年7月期2Q	1,852,014 株	23年7月期	1,851,993 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	50,244,857 株	23年7月期2Q	51,415,850 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、官民の総力を結集した復旧・復興努力により景気は持ち直しに転じてまいりましたが、急速な円高の進行や欧州政府債務危機の顕在化による世界経済の減速などにより、景気の回復は緩やかなものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、海外事業の拡大、事業本部組織の再編、環境対策事業の加速化、グループ会社の事業再編などにより事業構造改革をさらに進め、体質強化に努めてまいりました。

情報関連事業分野では、大手企業向けのソフトウェアライセンス販売が拡大し、中堅中小企業向け並びに福祉施設向けのソリューションビジネスも堅調に推移したものの、公共関連事業分野で前年同四半期の補正予算需要での実績をカバーするに至らず、オフィス関連事業分野も国内市場における厳しい競争環境が続いております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は510億9千1百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。利益面では、営業損失11億2千5百万円（前年同四半期は17億5千2百万円の損失）となり、前年同四半期を6億2千7百万円上回りました。経常損失は9億2千2百万円（前年同四半期は15億2千4百万円の損失）と前年同四半期を6億1百万円上回る結果となりました。また、平成23年度税制改正による繰延税金資産の取り崩しの影響などにより、四半期純損益は9億6百万円の損失（前年同四半期は14億3千万円の損失）となりました。

なお、当社グループの業績は、多くの顧客の決算期にあたる当社第3四半期連結会計期間に売上が多く計上されるという季節変動要因を抱えております。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの業績は以下の通りであります。

なお、報告セグメントにつきましては、これまで「公共関連事業」、「オフィス環境事業」、「情報エンジニアリング事業」としておりましたが、当期の組織変更に伴い、従来「情報エンジニアリング事業」に含めていた首都圏を中心とした大手企業を担当とするオフィスエンジニアリング部門の「オフィス環境事業」への統合等により各報告セグメントの変更を行っております。併せて「オフィス環境事業」、「情報エンジニアリング事業」をそれぞれ「オフィス関連事業」、「情報関連事業」に名称変更しております。前年同四半期比の金額および比率については、前第2四半期連結累計期間を当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

<公共関連事業分野>

公共関連事業分野のうち、文教分野では、ICTシステムの導入に加え、その利活用における充実にも需要が高まる中、首都圏を中心に順調に推移いたしました。地方自治体などの財政難等を背景に前年度の補正予算需要での実績をカバーするに至らず、前年同四半期の売上実績を下回りました。学校消耗品の通販事業『UCHIDAS』については引き続き拡大いたしました。

官公自治体向けの情報システム分野では住基法改正に伴い、基幹系業務システムである『Acrocity』の売上が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は193億7千4百万円（前年同四半期比5.7%減）となったものの、プロジェクト管理の一層の強化等により、営業利益は3億2千6百万円（前年同四半期比175.3%増）となりました。

<オフィス関連事業分野>

オフィス関連事業分野では、当期よりオフィス環境部門とオフィスエンジニアリング部門を統合し、一層の事業効率化とコスト削減を図ってまいりました。一方で重点分野における商品開発を強化し、競争力の高いデスクシステム「SCAENA シリーズ」や「ST ワゴン」等を投入するとともに、市場テーマ別カタログの発刊やショールームの整備等も進めプロモーションを強化いたしました。また、省エネルギー要請への対応に向け、新規事業としてス

ターゲットした ECO 事業も LED 照明を中心に順調に伸長しつつあります。

お客様の急速な経営環境の変化やワークスタイルの変化に対応すべく、当社グループの強みである「ICT」と「空間デザイン」及び「情報デザイン」を融合させ、働く人の生産性向上に寄与する空間構築事業の推進により、第3四半期以降に向けての受注状況に回復の傾向がみえてまいりましたが、国内市場における厳しい競争環境に加え、円高による欧米への輸出減等の影響もあり、売上高は177億3千2百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業損失は15億8千2百万円（前年同四半期は16億9千7百万円の損失）となりました。

<情報関連事業分野>

情報関連事業分野のうち、業務系システム分野では、中堅中小企業マーケット並びに福祉施設マーケットを中心に業種別ソリューションに注力し事業を推進してまいりました。これらのマーケットにおける重点商品である「スーパーカクテル」、「絆」の両シリーズとも需要動向が安定しており、売上は堅調に推移いたしました。

情報系システム分野では、首都圏の中堅企業でのネットワーク基盤更新、セキュリティ対策関連サポートおよび情報基盤再構築案件が、好調に推移しております。

また、大手企業向けライセンス販売については前年と比し、大幅に増加いたしました。

これらの結果、売上高は135億3千6百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益6千6百万円（前年同四半期は3億2千3百万円の損失）となりました。

<その他>

主な事業は人材派遣事業と教育研修事業であり、売上高は4億4千8百万円（前年同四半期比12.3%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ38億6千4百万円減少し、726億5千9百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少36億2千2百万円、受取手形及び売掛金の減少14億8千6百万円等により前連結会計年度末に比べ38億9千7百万円減少し、428億5千1百万円となりました。また固定資産は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円増加し、298億8百万円となりました。

<負債及び純資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億9千6百万円減少し、426億2千7百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少45億4千4百万円、短期借入金の増加28億8千7百万円等により前連結会計年度末に比べ21億4千7百万円減少し、335億7千9百万円となりました。また固定負債は、前連結会計年度末に比べ4千8百万円減少し、90億4千7百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少13億6千1百万円等により、前連結会計年度末に比べ16億6千7百万円減少し、300億3千2百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.1%から0.3ポイント低下し、38.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ35億7千6百万円減少し、74億7千万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動による資金の減少は、47億9千8百万円となっております。この減少は主に、売上債権の減少14億7千6百万円および減価償却費7億3千7百万円等の資金増に対し、仕入債務の減少46億3千2百万円、たな卸資産の増加9億6千4百万円、および税金等調整前四半期純損失8億3千5百万円等の資金減によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動による資金の減少は、8億1千1百万円となっております。この減少は主に、ソフトウェア開発等に係る投資支出4億4千6百万円および設備投資支出3億3千3百万円等の資金減によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動による資金の増加は、19億6千7百万円となっております。この増加は主に、短期借入金の純増額28億8千7百万円の資金増に対し、配当金の支払5億3百万円および長期借入金の返済3億4千万円等の資金減によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期通期の業績予想につきましては、平成24年2月24日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,414	10,792
受取手形及び売掛金	22,143	20,656
商品及び製品	4,942	5,605
仕掛品	2,048	2,325
原材料及び貯蔵品	412	424
繰延税金資産	1,399	1,408
短期貸付金	159	168
その他	1,496	1,595
貸倒引当金	△269	△125
流動資産合計	46,748	42,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,995	6,142
機械装置及び運搬具（純額）	199	179
工具、器具及び備品（純額）	1,153	1,070
リース資産（純額）	34	30
土地	9,319	9,309
建設仮勘定	1,198	154
有形固定資産合計	16,900	16,887
無形固定資産		
ソフトウェア	1,340	1,429
その他	130	124
無形固定資産合計	1,470	1,554
投資その他の資産		
投資有価証券	5,524	5,088
出資金	15	15
長期貸付金	1,550	1,549
繰延税金資産	2,861	3,153
その他	1,800	2,025
貸倒引当金	△347	△465
投資その他の資産合計	11,403	11,366
固定資産合計	29,775	29,808
資産合計	76,523	72,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,618	19,074
短期借入金	3,405	6,292
1年内返済予定の長期借入金	551	415
未払費用	3,485	3,444
未払法人税等	315	246
未払消費税等	162	169
賞与引当金	1,335	1,261
工事損失引当金	40	58
訴訟損失引当金	313	210
その他	2,498	2,406
流動負債合計	35,727	33,579
固定負債		
長期借入金	769	565
繰延税金負債	69	29
退職給付引当金	5,032	5,319
役員退職慰労引当金	198	—
資産除去債務	268	270
負ののれん	69	45
その他	2,689	2,817
固定負債合計	9,096	9,047
負債合計	44,823	42,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,225	3,225
利益剰余金	22,628	21,267
自己株式	△563	△563
株主資本合計	30,289	28,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397	148
為替換算調整勘定	△781	△858
その他の包括利益累計額合計	△383	△710
少数株主持分	1,793	1,814
純資産合計	31,699	30,032
負債純資産合計	76,523	72,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)
売上高	52,581	51,091
売上原価	39,449	38,329
売上総利益	13,131	12,762
販売費及び一般管理費	14,884	13,888
営業損失(△)	△1,752	△1,125
営業外収益		
受取利息	26	25
金型・設備使用料	69	64
負ののれん償却額	24	24
持分法による投資利益	—	14
その他	266	248
営業外収益合計	386	376
営業外費用		
支払利息	66	57
売上割引	34	38
持分法による投資損失	11	—
その他	46	77
営業外費用合計	158	173
経常損失(△)	△1,524	△922
特別利益		
貸倒引当金戻入額	68	—
訴訟損失引当金戻入額	—	87
特別利益合計	68	87
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	170	—
固定資産除却損	29	—
投資有価証券評価損	10	—
特別損失合計	210	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,666	△835
法人税、住民税及び事業税	158	178
法人税等調整額	△493	△165
法人税等合計	△335	13
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,331	△848
少数株主利益	99	57
四半期純損失(△)	△1,430	△906

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月21日 至 平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月21日 至 平成24年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,331	△848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	△242
為替換算調整勘定	△111	△77
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△5
その他の包括利益合計	12	△326
四半期包括利益	△1,318	△1,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,417	△1,233
少数株主に係る四半期包括利益	99	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月21日 至 平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月21日 至 平成24年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,666	△835
減価償却費	844	737
負ののれん償却額	△24	△24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△69	△27
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	95	220
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△116	△201
受取利息及び受取配当金	△84	△84
支払利息	66	57
持分法による投資損益 (△は益)	11	△14
訴訟損失引当金戻入額	—	△87
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	170	—
固定資産除却損	29	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,353	1,476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	127	△964
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,056	△4,632
その他	△1,521	△200
小計	△4,829	△4,580
利息及び配当金の受取額	86	84
利息の支払額	△66	△57
法人税等の支払額	△708	△373
法人税等の還付額	1,216	127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,300	△4,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△393	△312
定期預金等の払戻による収入	395	296
有形固定資産の取得による支出	△356	△333
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△280	△446
投資有価証券の取得による支出	△4	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	—
関係会社株式の売却による収入	6	—
貸付けによる支出	△82	△50
貸付金の回収による収入	57	40
その他	92	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563	△811

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,693	2,887
長期借入金の返済による支出	△398	△340
リース債務の返済による支出	△33	△45
配当金の支払額	△537	△503
少数株主への配当金の支払額	△34	△30
自己株式の取得による支出	△997	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	692	1,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,234	△3,678
現金及び現金同等物の期首残高	15,362	11,047
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	102
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,128	7,470

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年7月21日 至 平成23年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共関連 事業	オフィス環境 事業	情報 エンジニアリング 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,975	13,438	17,550	51,964	616	52,581	—	52,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	59	149	25	233	1,436	1,670	△1,670	—
計	21,034	13,587	17,576	52,198	2,053	54,251	△1,670	52,581
セグメント利益又は損失(△)	120	△1,228	△600	△1,708	△107	△1,815	63	△1,752

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、教育研修事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
- 4 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。
この結果、従来の方法によった場合に比べ、「公共関連事業」はセグメント利益が2百万円減少し、「オフィス環境事業」はセグメント損失が5百万円、「情報エンジニアリング事業」はセグメント損失が2百万円、「その他」はセグメント損失が1百万円それぞれ増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月21日 至 平成24年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共関連 事業	オフィス関連 事業	情報関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,374	17,732	13,536	50,643	448	51,091	—	51,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	285	180	44	509	1,338	1,847	△1,847	—
計	19,659	17,912	13,581	51,153	1,786	52,939	△1,847	51,091
セグメント利益又は損失(△)	326	△1,582	66	△1,189	8	△1,180	55	△1,125

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、教育研修事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントにつきましては、これまで「公共関連事業」「オフィス環境事業」「情報エンジニアリング事業」としておりましたが、当期の組織変更に伴い、従来「情報エンジニアリング事業」に含めていた首都圏を中心とした大手企業を担当とするオフィスエンジニアリング部門の「オフィス環境事業」への統合等により、各報告セグメントの変更を行っております。併せて「オフィス環境事業」、「情報エンジニアリング事業」をそれぞれ「オフィス関連事業」、「情報関連事業」に名称変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年7月21日 至 平成23年1月20日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共関連 事業	オフィス関連 事業	情報関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,549	18,724	12,795	52,069	511	52,581	—	52,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153	106	89	349	1,433	1,783	△1,783	—
計	20,703	18,830	12,884	52,419	1,945	54,364	△1,783	52,581
セグメント利益又は損失(△)	118	△1,697	△323	△1,902	11	△1,891	138	△1,752

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、教育研修事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。